

											昭	年
											19	月
											20	日
9	8	8	8	8		8	8	8	7	6	6	
3	31	29	28	16		13	10	9	初	27	15	
<p>興安集結「ソ」軍に収容さる</p> <p>音德爾出発、興安に移動</p> <p>音德爾において武装解除</p> <p>音德爾に到着</p> <p>師団は編成をととのへ興安南省音德爾方面に向かい出発</p> <p>「ソ」軍と遭遇、経路を変更して「ハマコーザ」に転進。</p> <p>に別れ、五叉溝に集結、興安を経て新京に向かい転進途中、西口付近において</p> <p>師団戦闘司令部を雄呼山に設定</p> <p>第三〇軍司令官の指揮下に入るべく新京に転進の軍命令をうけ師団は三ヶ梯団</p> <p>阿爾山より興安北省五叉溝に移動し陣地構築に従事</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>軍令陸甲第五五号により第一〇七師団司令部編成下令</p> <p>興安北省阿爾山において阿爾山駐屯隊司令部を基幹として編成完結</p>											概	要
											通称号	第一〇七師団司令部略歴
											出第二〇〇五〇部隊	満第八七部隊
											摘要	

至自		至自					
11	10	10	10	10	10	9	
2	27	30	26	20	15	12	
司 令 官		中 将 安 部 孝 一		「ソ」軍の命により徳伯斯に移動 龍江省 齊々哈爾（小民屯）に移動 齊々哈爾（小民屯）において將校作業大隊その他第一六、第一七、第一九各作 業大隊に編入 齊々哈爾出発 滿洲里經由入「ソ」			

		至		自		昭	
		8		20		19	
年	月	日	日	日	日	日	日
10	9	8	8	8	8	8	6
15	12	31	29	15	13	9	27
		龍江省齊々哈爾(小民屯)に移動		向かう		軍令陸甲第五五号により編成下令	
		音德爾出発、興安に移動		主力は音德爾に渠結、当地において武装解除		主力は阿爾山その他は伊爾施、「ハンダカヤ」等において編成完結(阿爾山駐屯隊復帰に伴い第一〇七師団編成内に入る)爾後外蒙国境監視に任ずると共に各駐屯地区付近の警備ならびに陣地構築実施	
		徳白斯に移動		日「ソ」開戦に伴い新京方面に転進のため行動開始		興安北省牛汾台、五叉溝、西口等において「ソ」軍の攻撃をうけ大損害をこうむり進路を変更して、師団主力とともに山中を迂廻「ハマコーザ」を経て号什台に到り再び「ソ」軍と交戦しこれを突破して興安南省音德爾に	
		龍江省齊々哈爾(小民屯)に移動				概要	
						摘要	

歩兵第九〇連隊略歴

通称号

満第一八一部隊

旭第二〇〇〇八部隊

0290

		10	10
		20	27
		10	20
		齊々哈爾弟一七作業大隊に編入	
		齊々哈爾出発	
		滿洲里經由入「ソ」	
	連隊長		
	少佐		
	早田正義		

11
の
5

										昭	年	月	日
										19			
										6			
					8	8		8	20		6		
10	10	10	9	8	8	8		8	7	11	6		
26	22	14	14	30	29	28		12	下	中旬	27	15	
<p style="text-align: center;">歩兵第一七七連隊略歴</p> <p style="text-align: center;">通称号 満第二〇一部隊 屈第二〇〇一部隊</p> <p style="text-align: center;">概要</p> <p>軍令陸甲第五五号により編成下令 龍江省齊々哈爾において独立混成第七連隊を基幹として編成完結（第一大隊齊々哈爾、第二大隊昂々溪、第三大隊自城子に駐屯） 連隊主力は五叉溝に第三大隊は德伯斯に移駐し爾後同地付近の警備 各駐屯地付近の陣地に配備し、陣地構築に従事中日「ソ」開戦 本部は師団主力とともに後退西口付近において「ソ」軍と交戦し「ハマコーザ」を経て号什台に向かう 音德爾に集結 音德爾において武装解除 興安に集結、收容 德伯斯へ移動 齊々哈爾第一五作業大隊に編入 齊々哈爾出發 満洲里經由入「ソ」</p> <p style="text-align: right;">摘要</p>													

二の内

0292

至自														
8	8	8	10	10	10	10	9	9	8	8	8	8	8	8
26	12	9	26	22	14	2	15	14	29	29	28	26	25	15
<p>第一大隊は開戦と共に新京に転進の命により陣地を撤退 西口において交戦</p> <p>西口付近の戦場を脱出し「ハマコーザ」に向かい転進 号什台において戦後興安南省音徳爾に移動</p> <p>音徳爾に集結</p> <p>音徳爾において武装解除</p> <p>興安収容所入所</p> <p>徳伯斯収容所入所</p> <p>徳伯斯出発</p> <p>齊々哈爾（小民屯）に収容</p> <p>齊々哈爾第一五作業大隊に編入</p> <p>齊々哈爾出発</p> <p>満洲里經由入「ソ」</p> <p>第一大隊は大義山において陣地構築中「ソ」開戦 師団の後退援護のため列車で索倫に急行、同日索倫着、索倫において「ソ」軍 戦車と交戦後大隊は分散状態となつて脱出。</p> <p>興安南省音徳爾に部隊主力は集結</p>														

0293

10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10	8
26	22	14	27	25	15	14	12	11	9	26	22	14	20	
<p>音徳爾において武装解除 興安を経て江江省齊々哈爾に收容 齊々哈爾第一五作業大隊編入 齊々哈爾出發 滿洲里經由入「ソ」</p> <p>第三大隊は日出山付近において陣地構築中開戦 興安北省五叉溝に集結 五叉溝出發 西口において交戦 戦場離脱 号什台において交戦 音徳爾において武装解除 齊々哈爾第一五作業大隊編入 齊々哈爾出發 滿洲里經由入「ソ」</p>														

64004

	至	自	至	自
	10	10	10	10
	29	27	27	26
				20
連隊長	大佐	米本勝男	滿洲里經由入「ソ」	齊々哈爾出発
			各大隊の一部は齊々哈爾第一七、第一八作業大隊等に編入	

0295

昭和19年		昭和20年	
日	月	日	月
15	6	4	6
27	6	7	6
11	8	8	8
9	8	8	8
13	8	8	8
24	8	8	8
28	8	9	8
1	9	3	9
3	9	9	9
17	9	17	9
軍令陸甲第五五号により編成下令		中甸主力は龍江省齊々哈爾に移動、第二大隊を奉天省遼陽に派遣	
濱江省哈爾濱において歩兵第一一七連隊補充隊、第六五、第七五、第七六の各		上甸連隊主力は五叉溝に移駐（移駐時、齊々哈爾に各大隊の一部残置）	
兵站警備隊を基幹として編成完結		日「ソ」開戦、五叉溝を撤退	
		新京方面に転進のため行動開始	
		西口付近において交戦	
		号什台を経て興安南省音德爾に向い後退、途中各中隊は四散状態となつて行動	
		後音德爾において集結し師団主力と合流	
		音德爾において武装解除	
		音德爾出發	
		興安に収容	
		興安より徳伯斯に出発	
通称号		通称号	
満第二〇九部隊		満第二〇九部隊	
屈第二〇〇〇八部隊		屈第二〇〇〇八部隊	
歩兵第一七八連隊 略歴		歩兵第一七八連隊 略歴	
税		税	
要		要	
摘要		摘要	

0296

8	8	9	9	9	8	8	8	8	11	10	10	10	9
18	15	11	8	1	18	15	12	9	30	30	18	3	26
同地において武装解除 哈爾浜において停戦		黒河経由入「ソ」			新京第七作業大隊に編入 新京において武装解除				第二大隊は連隊復帰を命ぜられ遼陽出発 白城子に到着したが、原隊に復帰出来ず引続き新京に向かい転進 新京に到着、第一四八師団長の指揮下に入る 満洲里経由入「ソ」 齊々哈爾第一八作業大隊に編入、齊々哈爾出発 齊々哈爾着 德伯斯到着 德伯斯出発				
各大隊の一部残置者は齊々哈爾より哈爾浜に移動 光戦車隊長の指揮下に入る													

64103

	9	9
	11	9
	連隊長	海林第一〇一作業大隊に編入 海林出発、板芬河経由入「ソ」
	中佐	
	堀尾	
	茂	
	光	

0298

至自		至自										昭		年 月 日	第一〇七師団挺進大隊略歴 連称号 出第二〇〇一一部隊	概要	
												20					要
												7					
10	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7		
5	9	30	29	28	25	20	19	16	15	14	13	12	9	15	10	軍令陸甲第一〇六号により編成下令 興安北省五叉溝において第一〇七師団各隊より抽出して編成完結 日「ソ」開戦に伴い第一中隊を三岫山付近に、第二、第三中隊を五叉溝付近に 配置し戦闘準備 転進命令により同地出発 西口付近において交戦 「ハマコーザ」に転進 情報蒐集のため西口北方三料の地点において各中隊作戦行動を行ふ 「ハマコーザ」到着 「ハマコーザ」出発、新京に向ふ 号什台において「ソ」軍に遭遇、第一〇七師団司令部の命により音徳爾に転進 音徳爾に到着 音徳爾において武装解除 行軍にて興安に移動 徳伯斯に移動	

	至自	至自	至自	自
	1010	1010	1010	1010
	2026	2722	2014	7
	大隊長	大尉	野村	彰
	滿洲里經由入「ソ」	齊々哈爾出發	齊々哈爾第一五、弟一七作業大隊に編入	齊々哈爾に集結

四
つ
ト

											昭 20	昭 19	年 月 日	概 要	摘 要
9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	4	6	6			
15	4	30	29	28	24	15	13	11	上 旬	上 旬	30	15			
德伯斯收容所に移動 興安收容所に入る 音徳爾より行軍にて興安に向かい出発 音徳爾において武装解除 師団主力と合流 音徳爾に到着 西口付近の戦場を離脱、音徳爾に向かう 西口付近において「ソ」軍と交戦 師団命令により新京に後退のため五又溝出発 五又溝に移駐、爾後同地付近の警備ならびに陣地構築中日「ソ」開戦 齊々哈爾に移駐 隊を基幹として編成完結 浜江省哈爾濱において歩兵第九〇連隊独立混成第七連隊、搜索第五七連隊補充											軍令陸甲第五五号により編成下令				

搜索第一〇七連隊略歴

 通称号 満第一七四部隊
 屈第二〇〇〇四部隊

五の外

0301

昭		昭		年	月	日	概	要	摘	要
20		19								
9	8	8	6	19	6	6	<p>野砲兵第一〇七連隊略歴</p> <p>通称号 満第二三六部隊 旭第二〇〇六部隊</p>	<p>軍令陸第五五号により野砲兵第一〇七連隊臨時編成並に阿爾山駐屯砲兵隊復 帰下令</p> <p>浜江省哈爾濱において阿爾山駐屯砲兵隊を基幹として編成完結</p> <p>第一大隊（九〇野砲） 第二大隊（輓馬一五榴一新編成）を編成 第三大隊（九四山砲）</p> <p>興安南省徳伯斯に移動</p> <p>主力は五叉溝に移動、爾後同地において陣地構築</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>新京え転進のため五叉溝出発</p> <p>この間に索倫、号什台等で戦闘し大なる損害を出した。</p> <p>音徳爾到着</p> <p>音徳爾において武装解除、同日同地出発</p> <p>興安到着</p>		
8	20	28	30	15	15					

	10	10	10	10	10	9	9
	27	26	20	4	1	13	10
連 隊 長	滿洲里經由入「ソ」	齊々哈爾出發	齊々哈爾第一六作業大隊編入	齊々哈爾着	德伯斯出發	德伯斯到着	興安出發
大 佐							
角 田 文 雄							

0304

至自		昭		昭		年 月 日	概 要
		20		19			
8	8	8	8	8	8	6	6
28	26	16	14	11	9	5	15
<p>通称号 満第三三九部隊 組第二〇〇三部隊</p> <p>工兵第一〇七連隊略歴</p> <p>軍令陸甲第五五号により編成下令 浜江省哈爾濱において阿爾山駐屯工兵隊を基幹として編成完結 同日より同地付近の警備 移駐のため哈爾濱出発 龍江省白城子泉境通過 鎮西に移動、同地付近の警備 移駐のため鎮西出発 富拉爾基着、同地付近の警備 富拉爾基出発 五叉溝到着 日「ソ」開戦 師団の転進とともに五叉溝より新京に向う 西口付近において戦闘 戦場を離脱し「ハマコーザ」を経て音徳爾に向う途中中号什台において戦闘 音徳爾に到着</p>							
							摘 要

0305

	11	10	10	10	9	9	8
	30	30	24	15	27	1	29
隊長	滿洲里經由入「ソ」	齊々哈爾出發	齊々哈爾(小民屯)に收容され第一八作業大隊に編入	德伯斯出發	興安收容所より行軍にて德伯斯に收容	興安に收容	音德爾において武装解除、同日行軍にて興安に向け出發
少佐							
永井							
清							

0306

至		自		昭		19		年	月	日	概	要	摘	要
				20		6								
8	8	8	8	8	8	7	6				<p>軍令陸甲第五号により編成下令 龍江省齊々哈爾において編成完結（第四中隊は阿爾山駐屯勝股隊を基幹として阿爾山において編成、同地に駐屯） 主力は齋々哈爾附近の警備に任じていたが五叉溝に移駐を命ぜらる 本部第三中隊は列車、第一、第二中隊は行軍により齊々哈爾出發 列車輸送部隊五叉溝到着 行軍部隊五叉溝到着 第四中隊は五叉溝に移駐し連隊主力の移駐準備に任じ主力の到着に伴い連隊に復歸した 日「ソ」開戦により各中隊は五叉溝出發 新京方面へ転進の命をうけ本部第三、第四中隊は自動車により転進、途中索倫付近において「ソ」軍と交戦し音徳爾一大戦を経て前部旗に到着、同地において武装解除 列車にて同地出發</p>			
31	30	11	9	8	8	7	30							

輜重兵第一〇七連隊略歴

通称号 滿第四五二部隊
旭第二〇〇二〇部隊

0307

昭											昭	年 月 日	第一〇七師団通信隊略歴									
20											19											
10	10	9	9	8	8	8	8	8	8	6	6											
20	15	15	3	30	23	17	12	9	13	27	15		概要									
齊々哈爾において第一五作業大隊に編入											<p> 隷令陸甲第五五号により第一〇七師団通信隊臨時編成下令 興安北省阿爾山において阿爾山駐屯通信隊を基幹として編成完結 移駐のため阿爾山出発、興安省五叉溝着、陣地内通信線の建設作業 五叉溝において日「ソ」開戦 師団命令により部隊は新京を目標に移動開始 西口において交戦 号什台において交戦 音徳爾において武装解除 行軍にて興安に移動 行軍にて徳伯斯に移動 徳伯斯より齊々哈爾に移動 齊々哈爾において第一五作業大隊に編入 </p>											概要
																						摘要

0310

64702

	10 10
	26 22
	隊 長 滿洲里經由入「ソ」 齊々哈爾出發
	少 佐 畠 中 三 次 郎

0311

		至自		至自		至自		至自		至自		至自		昭	年 月 日	第一〇七師団兵器勤務隊略歴
		至自		至自		至自		至自		至自		至自		20		
10	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	5	5	通称号 胆第一三九五九部隊 概要 軍令陸甲第七五号により編成下令 興安北省五叉溝において歩兵第九〇、第一七七、第一七八連隊の兵器勤務要員 を基幹として編成完結 五叉溝において開戦 師団の新京転進により五叉溝出発 西口戦闘参加 「ハマコーザ」に集結 号什台の戦闘参加後、音徳爾に移動 音徳爾着 音徳爾において武装解除 興安に収容 徳伯斯に移動 齊々哈爾(小民屯)に移動 齊々哈爾第一六作業大隊編入
20	15	6	4	29	27	26	24	16	15	13	10	9	31	1	摘要	

0312

64802

		10 10
		27 28
	隊 長	齊々哈爾出発 滿洲里經由入「ソ」
	中 尉	
	森	
	康 信	

0313

至自 至自											昭	年 月 日	第一〇七師団病馬廠略歴 通称号 屈第一二〇六二部隊	
10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	5			5
20	下旬	3	29	26	24	15	13	11	9	7	18	14	7	摘 要
齊々哈爾第一六作業大隊に編入											特臨編第五〇号により編成下令			
德伯斯より齋々哈爾收容所に移動											龍江省齋々哈爾において編成完結			
德伯斯に一ヶ月滞在											師団病馬の収容業務			
音德爾より德伯斯に向け行軍、											五又溝に向かい出発			
音德爾到着、同日武装解除											五又溝着			
号什台において交戦											日「ソ」開戦			
西口付近において交戦											五又溝発、部隊は新京に向つて移動			
音德爾到着、同日武装解除											西口付近において交戦			
德伯斯に一ヶ月滞在											号什台において交戦			
音德爾より德伯斯に向け行軍、											音德爾到着、同日武装解除			
德伯斯より齋々哈爾收容所に移動											德伯斯に一ヶ月滞在			
齊々哈爾第一六作業大隊に編入											音德爾より德伯斯に向け行軍、			

八の内

0314

		10 10
		27 20
	廠長	齊々哈爾出発 滿洲里經由入「ソ」
	大尉 神田 清	

昭											年	
20												月
10	9	9	8	8	8	4	4	4	4	6	6	
20	30	1	29	11	9	18	9	9	8	30	15	
<p>齊々哈爾着</p> <p>德伯斯出發齊々哈爾に向かう</p> <p>音德爾より興安を経て德伯斯まで行軍</p> <p>興安南省音德爾到着、同地において武装解除</p> <p>新京に転進のため五又溝出發</p> <p>五又溝において日「ソ」開戦</p> <p>五又溝に移動</p> <p>龍江省齊々哈爾着、同地付近の警備</p> <p>浜江省肇東県境通過</p> <p>移駐のため哈爾濱出發</p> <p>同地にあつて師団各隊の防疫に従事</p> <p>浜江省哈爾濱において編成完結</p> <p>軍令陸甲第五五号により編成下令</p>											<p>第一〇七師団防疫給水部略歴</p> <p>通称号 満弟三九四部隊 旭弟二〇〇二七部隊</p>	
											概	要
											摘	要

九の外

0316

至自至 自至自

11 10 10 10 10

30 29 30 27 30 20

齊々哈爾第一七、第一八作業大隊に編入

齊々哈爾出發

滿洲里經由入「ソ」

部隊長

少佐

佐久間 栄 枝

九の内

昭		昭		年	月	日	概	要	摘要	
20	19	8	7							
8	8	8	6	6	5	8	7	15	10	<p>軍令陸(甲)第七九号により編成下令 北支河南省新郷において独立混成第四旅団隷下の部隊よりの転入者を基幹として編成完結 爾後同地付近の警備 満州移駐のため新郷出発 山海関通過 龍江省洮南に到着、同地付近の警備 日「ソ」開戦 新京集結の命により行軍にて洮南出発 (先発隊の一部は公主嶺に向け出発) 大賚に到着、停戦、大賚より主力は列車により、一部は行軍にて新京に向</p>

才一七師団司令部略歴

通称号 弘第三一四〇部隊

0318

	11	10	10	9	9	9	8	8
	22	13	13	23	6	5	28	19
	黒河経由入「ソ」	公主嶺出発	主力は公主嶺第五作業大隊に編入	黒河経由入「ソ」	新京出発	一部は新京第八作業大隊に編入	主力は公主嶺に到着、同地において武装解除	一部は新京に到着同地において武装解除
司令官	中将	鈴木啓久						かつて移動

0319

昭 20											昭 19	年 月 日	歩兵第八七旅団司令部 略歴 通称号 弘第一五六二部隊
10	10	9	9	8	8	8	8	7	6	8	7		
30	2	20	1	20	17	15	9	2	29	15	10		
<p>黒河經由入「ソ」</p> <p>公主岑出發</p> <p>公主岑第一〇作業大隊に編入</p> <p>吉林省公主岑に集結</p> <p>前郭旗において武装解除</p> <p>主力は、行動軍にて大賚より吉林省前郭旗着</p> <p>大賚にて停戦</p> <p>龍江省白城子に集結以後同地付近の警備</p> <p>日「ソ」開戦により白城子出發。龍江省大賚に向かう</p> <p>満州に転進の命をうけ、山海関通過</p> <p>警備</p> <p>河南省汲県において独立歩兵第四旅団を基幹として編成完結。以後同地付近の</p> <p>軍令陸甲第七九号により編成下令</p>											概	要	
											摘	要	

	9	9	9	8	8
	23	6	5	20	18
<p>黒河経由入「ソ」</p> <p>旅团长</p> <p>少将</p> <p>庄司</p> <p>巽</p>					<p>一部は大奮出發。新京に向かう</p> <p>新京特別市寛城子において武装解除</p> <p>新京第八作業大隊に編入</p> <p>新京出發</p>

0321

										年
										月
										日
					昭 20		昭 19			昭 18
					8	3	2		12	12
					8	5	27		20	10
					8	4				
					8	9				
					8	11				
					8	16				
					8	19				
					8	20				
独立歩兵才二〇三大隊略歴 通称号 弘第一四六七部隊										
概要 軍令陸(甲)第一一五号により編成下令 山東省青島において独立混成第四旅団隷下の歩兵大隊よりの転入者を基幹 として編成完結、同日より同地付近の警備 青島出発 河南省鄭泉開封着、以後同地付近の警備 満洲に移駐のため開封出発 日「ソ」開戦 河北省山海関通過 吉林省新京着、同地付近の警備中停戦 新京出発 吉林省懷徳県公主嶺着										
摘要										

0322

	9	9	9	9
	30	15	13	10
<p>黒河経由入「ソ」</p> <p>大隊長 大尉 向井 一 義</p>	<p>公主嶺出発</p>	<p>一部は公主嶺作業第一三大隊に編入</p>	<p>主力は公主嶺作業第一一大隊に編入</p>	<p>一部は、新京において武装解除</p> <p>同地において武装解除</p>

0323

		至自		昭		昭		昭			
		2020		20				19 18			
年		月		日		日		日			
		8	8	7	6	6	3	3	2	12	
		13	9	1	30	20	10	7	6	25	10
		<p>龍江省、白城子着</p> <p>日「ソ」開戦と共に白城子付近において陣地構築配備につく</p> <p>主力は陣地より徹退、新京に向かう</p>									
		<p>軍令陸(甲)第一一五号により臨時編成下令</p> <p>山東省済南において独立混成第4旅団隷下の歩兵大隊よりの転入者を基幹として編成完結</p> <p>爾後同地付近の警備</p> <p>済南出発</p> <p>河南省新郷着、同日より付近の警備</p> <p>新郷出発</p> <p>山海関通過</p>									
		<p>通称号 弘第一四六八部隊</p>									
		<p>概要</p>									
		<p>摘要</p>									

独立歩兵才二〇四大隊略歴

0324

	10	9	9	9	9	9	8	8
	1	16	13	23	6	5	20	18
	満州里經由入「ソ」	公主嶺出發	一部は公主嶺作業第一一大隊に編入	黒河經由入「ソ」	新京出發	主力は新京作業第八大隊に編入	残置二ヶ中隊は前郭旗にて武装解除	主力は新京着、同地において武装解除、
大隊長	少佐	上	古	正	樹			

0325

至自							昭	昭	年 月 日	独立歩兵才二〇五大隊略歴
1919							19	18		
12	11	11	11	5	3	3	2	12		
20	15	10	5	20	10	8	4	25	10	
考城出發、河南省蘭封に向かう。 河南省考城着、爾後同地付近の警備ならびに討伐 懷慶出發 河南省懷慶に移動、付近の警備ならびに討伐 孟県出發 河南省孟県着、同地付近の警備 警備地域変更のため青島出發 同日より同地付近の警備 として漏成完結 山東省青島において独立混成第四旅団隷下の歩兵大隊よりの転入者を基幹							軍令陸(甲)第一一五号により編成下令		概	要
									摘要	

0326

昭												
20												
	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	12	
	1	16	13	20	19	15	12	10	9	5	15	
		滿州里經由入「ソ」	公主嶺出発	公主嶺第一作業大隊に漏入	公主嶺において武装解除	公主嶺着	新京出発	龍江省洮南に向かい転進中新京において停戦	山海関通過	日「ソ」開戦	蘭封出発	河南省蘭封着、爾後同地付近の警備ならびに討伐
	大隊長	少佐	星野六藏									

0327

							昭	昭	昭	年 月 日	独立歩兵才二〇六大隊略歴 通称号 弘第一四七〇部隊		
							20	19	18				
7	7	6	6	6	2	2	2	12					
7	1	25	24	20	28		25	10	概	要			
満洲国龍江省洮南着、爾後同地付近の警備							軍令陸(甲)第一一五号により編成下令						
山海関通過							山東省済南において独立混成第四旅団隷下の歩兵大隊よりの転入者を基幹として編成完結						
満洲に移駐の命令をうけ、湯武出発							爾後同地付近の警備						
陽武着、同地付近の警備							済南出発						
河南省新郷着、爾後同地付近の警備ならびに討伐													
河南省、湯武に移動のため新郷出発													
陽武着、同地付近の警備													
満洲に移駐の命令をうけ、湯武出発													
山海関通過													
満洲国龍江省洮南着、爾後同地付近の警備													
							摘要						

0328

		9	9	9	8	8	8	8
		30	15	10	19	18	17	15
		黒河経由入「ソ」	公主嶺出発	公主嶺第一八作業大隊に編入	前郭旗着、同地において武装解除	新京着、前郭旗に向かう	新京着	洮南着、新京に向かう途中停戦となる。
	大隊長	少佐	日野原	松	市			

至自											年月日	概要	
99										昭20			昭19
2017	8	8	8	8	8	7	7	6	8	7			
	20	17	15	12	9	5	1	25	15	10			
<p>公主岑第九、第一〇作業大隊に編入</p> <p>公主岑において武装解除</p> <p>吉林省公主岑に移動</p> <p>新京において停戦</p> <p>軍令により、吉林省新京に転進</p> <p>日「ソ」開戦により龍江省洮南に移動集結</p> <p>龍江省開通県に駐とん付近の警備</p> <p>山海関通過</p> <p>満州移駐のため、鄭州出発</p> <p>警備</p> <p>河南省鄭州において独立歩兵第四旅団を基幹として編成完結。以後同地付近の</p> <p>軍令陸甲第七九号により編成下令</p>												要	
												摘要	

歩兵第八十八旅団司令部 略歴

通称号 弘第一五六二四部隊

至	自	至	自
12	10	10	9
7	3	2	21
旅 団 長	黒 河 経 由 入 門 ノ	公 主 出 発	
少 将			
池 田 次 郎			

0331

昭 20										昭 19	年 月 日	独立歩兵才三八八大隊略歴 通称号 弘第一五六二五部隊	
至自										昭 19			概 要
9	8	8	8	7	7	6	6	6	8	7			
17	20	11	9	10	4	30	20	25	15	10	軍令陸甲第七九号により編成下令 河南省鄭州において独立混成第四旅団隷下の歩兵大隊よりの転入者を基幹として編成完結 部隊移動のため鄭州出発 山海関通過 四平省大平川到着、同地付近の警備 大平川出発 日「ソ」鼎戦と同時に龍江省洮南に移動 洮南着、同日洮南出発 公主嶺において武装解除 公主嶺作業第九大隊に編入	摘要	

0332

	至自
	1210 9
	7 3 21
	黒河経由入「ソ」 公主嶺出発
	大隊長・大尉 遠間公佐久

0333

至自										昭	年 月 日	独立歩兵才三八九大隊略歴 通称号 弘第一五六二六部隊
〃 20										19		
9	8	8	8	8	7	1	8	8	7	7		
17	20	18	15	7	20	1	19	15	10	10	既	要
<p>公主嶺第九作業大隊に編入</p> <p>公主嶺着同地において武装解除</p> <p>新京着、同日新京出発、公主嶺に向かう</p> <p>山海関通過、同日停戦となる</p> <p>滿州移動のため新鄭出発</p> <p>河南省新鄭着、同地付近の整備</p> <p>鄭州出発</p> <p>爾后同地付近の整備</p> <p>として編成完結</p> <p>河南省鄭州において独立混成第四旅団隷下の歩兵大隊よりの転入者を基幹と</p> <p>軍令陸甲第七九号により編成下令</p>										摘要		

0334

	至自
	1210 9
	7 8 21
	黒河経田人「ソ」 公主嶺出發
	大隊長 少佐 白戸 憲吉郎

		昭和19年		昭和20年			
		月		日			
		7	8	7	8	25	2
		10	15	10	12	15	19
		10	21	10	21	19	21
	概要	<p>軍令陸甲第七九号により編成下令 北支河南省修武において独立歩兵第四旅団を基幹として編成完結 同日より八路軍討伐ならびに同地付近の準備 満洲に移動のため、河南省修武出発 山海関通過 龍江省靖通着 新京防衛の軍命により、開通発 新京着、同地において停戦 新京出発、公主嶺に向かう 途中、吉林省八家子において武装解除、同日公主嶺に向かう</p>					
	摘要						

独立歩兵才三九〇大隊略歴

通称号 弘第一五六二七部隊

0336

	11	10	8
	22	13	25
	黒河産由入「ソ」	同日公主領出発	公主領着
隊長	大尉		
	服部喜代士		
		公主領第五作業大隊に編入	

0337